

WA² 『わわ』

令和2年5月1日

昨日の「わわ」で、夢はもう一度海外の日本人学校で働いてみたいと書きました。もう一度と言うことは、以前に日本人学校で働いたことがあるからです。それは、インドネシアの首都ジャカルタにある「ジャカルタ日本人学校」で校長先生として3年間行っていたことです。

インドネシアは、約90%の人がイスラム教を信仰しています。今の時期はちょうどイスラム教のラマダンと言って「断食」を約1か月行う時です。（食物に感謝をする意味があります。）朝太陽が昇り始めてから太陽が沈む夜までの間は、食べ物はもちろん水も飲むことができない日を過ごします。（ただし、太陽が沈んでいる間は、食べたり飲んだりすることができます。）それを1か月続けると、レバランと言って、お祝いが始まります。祝日で学校や会社も休みになり、みんな地方の家に帰り、親戚が集まり楽しい時間を過ごします。インドネシアには約2億6千万人の人々が生活していて、世界第4位の人口になります。一年中夏で、雨季と乾季がやってきます。雨季にはバンジールと言って大雨が降り、道路も川のようになってしまいますが、そこで泳いで遊ぶ子どももいます。大変明るく、楽しい人たちで、笑顔が素敵です。手先が器用で、仕事や勉強にも真面目に取り組む人ばかりでした。旅行ではなく、そこで生活をする中で、思いもよらない経験をする事ができた3年間でした。

校長室には、インドネシアから持ってきた物があります。見に来てください。

ジャカルタ漁港（日本人が作りました）



6年生の社会科学習



日本人学校校舎の玄関ロビー



インドネシアの素晴らしいところを皆さんにも紹介できればと思います。

いつもとは違うゴールデンウィークを過ごしていると思います。家で過ごすこの時間も大切にして、元気に過ごしてください。

なぞなぞ！これは何のこと？

『あ い う お お』

答えは次の号で！